

交直両用音響発光式検電器 HS-1.5NJ型/HS-1.5NJ1型

■概要

本器は交流又は直流電路の検電に用いるもので、電路と大地間の電圧を検出し、表示灯および音響により電路の充電の有無を表示します。

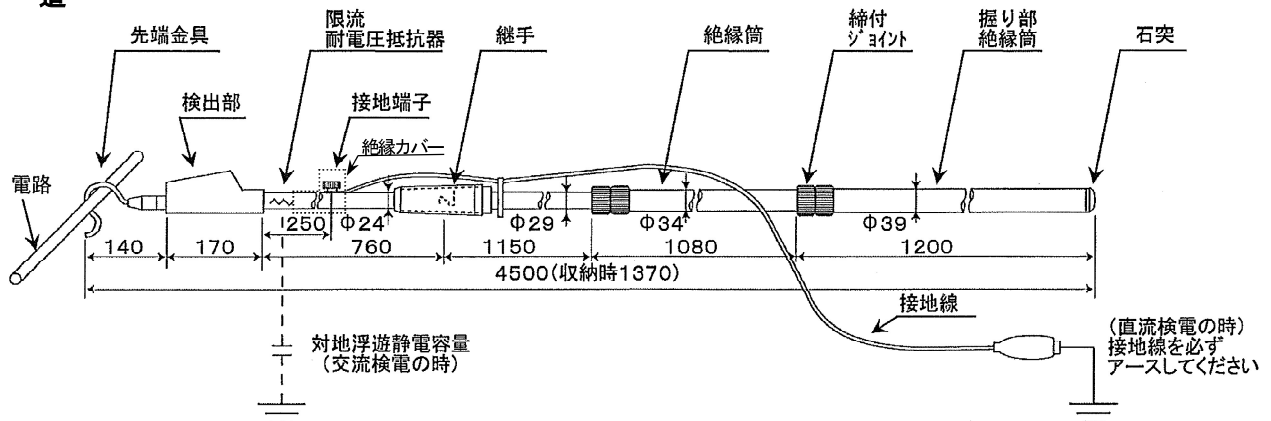
■特徴

1.	音と光で動作表示をしますから、明るい場所や雑音の多い場所でも確実に検電することができます。
2.	電源スイッチは備えていませんので常時使用待機状態にありますが、この状態では電池電流が流れず電池は消耗しません。動作状態のときのみ、電池電流が流れますので経済的です。
3.	交直両用ですから、ケーブルやコンデンサの残留電荷の有無、直流耐電圧試験時の検電もできて非常に便利です。ただし、直流を検電する場合は検電器の接地端子をアースしないと検電できません。交流検電の場合は、アースしなくても検電できます。

■仕様

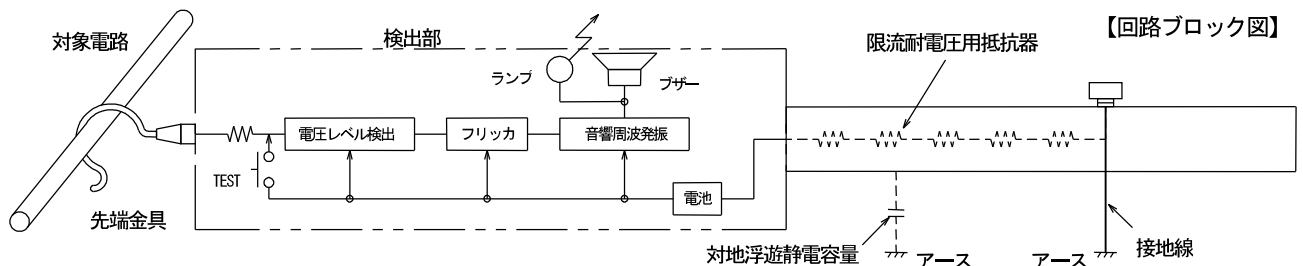
使用電圧範囲 (裸電線専用)	HS-1.5NJ	AC6.6kV、DC600~7000V	動作開始電圧	HS-1.5NJ	AC2000V±20%、DC400V±20%
	HS-1.5NJ1	AC6.6kV、DC1000~7000V		HS-1.5NJ1	AC2000V±20%、DC800V±100V
耐電圧	先端金具-接地端子間 AC14000V 5分間		表示灯	赤色 LED 8000lx の明るさの中で確認可能	
			発音体	音量 握り部の位置にて 50dB 以上	
漏洩電流	耐電圧試験時の漏洩電流 1mA 以下		使用電池	6F22 (S-006P) 9V 電池 1個	
			付属品	収納袋、接地線 7m、乾電池 (動作確認用)	

■構造



■動作

直流検電時	接地線をアースに接続し、先端金具を裸充電電路に接触させると、先端金具→検出部(電子回路)→限流耐電圧用抵抗器→接地線→アースの経路で電流が流れ、その電流を電子回路で検出増幅し、表示灯が点滅し、発音体が音響を発して電路が充電状態であることを表示します。
交流検電時	先端金具を裸充電電路に接触させると、先端金具→検出部(電子回路)→対地浮遊静電容量→アースの経路で電流が流れるため、接地線がなくとも動作します。



 長谷川電機工業株式会社

TEL:06-6429-6144 E-Mail:infor@hasegawa-elec.co.jp

URL:http://www.hasegawa-elec.co.jp


HSZ05-M-001C

■使用方法

検電の前に


1.	外観、構造に異常がないか点検してください。また、接地線の断線や接地端子金具に変形や汚れ、破損がないことを確認してください。著しいキズや汚れ、割れなど異常のある場合は使用しないでください。
2.	テストスイッチにより、発音・発光状態を確認してください。発音・発光しない又は、音が小さい、光が暗いときは新しい電池に交換してください。
3.	「TEST」は電池等のチェックで検電器の試験ではありませんので、直流電路を検電する場合は直流の、交流電路を検電する場合は交流の検電器試験器 ^{※1} や既知の電源で動作を確かめてください。（使用前点検：労働安全衛生規則第352条）

※1 弊社検電器試験器はHLA-N1 または N2（直流用）、QL-1-06（交流用）をご利用ください。

 注意	<p>◎使用前に必ず既知の電源又は検電器試験器で動作をチェックしてください。 テストスイッチによるチェックのみでは不十分です。</p> <p>◎直流をチェックする場合は必ず接地線を接続した状態で行ってください。</p> <p>◎接地線を接続する場合、接地線が外れないように検電器の接地端子を緩みのないようしっかりと締め付けて固定してください。締め付けが緩いなど正しく接続されていない場合は検電できません。</p>
---	--

検電

1.	接地線の接地端子金具を検電器の接地端子に接続し、接地マグネットをアースに接続してください。（直流検電時） 接地線を接続後、接地端子が露出しないように絶縁カバーを被せてください。
2.	握り部を握り、先端金具を電路に接触させて検電してください。

 注意	<p>◎検出部（プラスチックケース）及び接地端子上部（充電部注意シールより検出部側）が接地金物及び他の充電物に接近・接触しないようにすること。</p> <p>◎接地端子及び接地線が充電物に接近・接触しないようにすること。</p> <p>◎直流検電の場合は必ず接地端子・接地線をアースすること。</p> <p>◎検電中は握り部以外のところには絶対に触れないようにすること。</p> <p>◎接地線の接地端子金具部分には負荷がかからないように取扱いには十分ご注意ください。 破損や変形の原因となる恐れがあります。</p>
---	---

（交流検電の場合は、接地端子・接地線をアースする必要はありません。）

■電池取替方法

- ・発音・発光しない又は、音が小さい、光が暗いときは新しい電池に交換してください。
- ・フタのネジをマイナスドライバーで回すと、フタがはずれ電池が収納されています。
- ・極性を確認し、交換してください。極性を逆にすると動作しません。なお破損のおそれがありますので御注意ください。
- ・電池は9V乾電池6F22（S-006P）1個です。付属の電池は動作確認用です。早めの交換をお勧めします。

■保守・保管時の注意

- ・夏期の路上や、自動車の中などの高温になる場所に置かないでください。
- ・落下、下敷き等、衝撃や強い力が加わらないように御注意ください。又、薬品等で拭かないでください。
- ・保管する場所は直射日光の当たらない、屋内の乾燥した所を選んでください。
- ・半年に1回程度、耐電圧性能を確認するため試験電圧10kV以上の定期自主検査を行ってください。
- ・長期間使用しない時は、電池が粗悪な場合漏液して検電器を損傷しますので、電池は取外して保管してください。

■保証について

本製品は、ご購入後、1年間保証です。

保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合には無償で修理いたします。

（電池などの消耗品の交換、補充は保証外）

但し、この保証は日本国内のみとさせていただきます。

**本器の分解・改造はしないでください。
分解・改造により生じる一切の事故には責任を負いかねますのでご了承ください。**

（注）改良のため仕様を若干変更することがあります。